

Women in Physics に参加して

森 初果（物性研究所新物質科学研究部門 教授 化学専攻兼任）

2014年8月5－8日に、ナイアガラの滝から車で2時間のウォータールー（Waterloo, カナダ）にあるウィルフレッド ローリエ（Wilfrid Laurier）大学で、国際純粋・応用物理学連合（IUPAP: International Union of Pure and Applied Physics）の Women in Physics 会議が開催された。世界52か国から、物理・応用物理学の研究と教育に携わる210人余りの女性（9割）および男性（1割）の研究者、教育者、学生が集まった。私も7人の日本チームの1人として参加した。先進国の研究者ばかりでなく、寄付金を集めて、発展途上国や若手の研究者および学生にも参加を促し、世界中から集まった多くの仲間と一緒に、物理・応用物理学の研究と教育および男女共同参画に関する討議を行った（図）。

わが国でも、21世紀に入る直前の1999年に、男女の人権が共に尊重される社会を目指して、まず「男女共同参画社会基本法」が整えられた。この動きの中で、東京大学でも、2003年に「東京大学男女共同参画基本計画」を決定し、2006年に各部署教員と事務職員が参画する総長直轄の「男女共同参画室」を設置し、2007年の「東京大学男女共同参画推進計画」では、教育・研究・雇用などにおける男女共同参画、雇用環境の改善などを盛り込んだ。その計画の中で、2008年には本郷、駒場、柏、白金の各キャンパスに新しい事業所内保育園が開設され、現在では7保育園体制が整っている。公立保育園の入園許可が下りにくい乳幼児を抱える女性研究者、外国人研究者、学生も勉学や研究を継続することが可能となった。保育園は現在ほぼ満杯状態で、運営が続けられている。男女共同参画室では、男女共のワークライフバランスやキャリア形成を支援する勤務態様部会、東大への女子学生進学および入学者のサポートを行う進学促進部会、保育施設・街灯・トイレなどの環境整備を行う部会、ポジティブアクションを推進する部会が活動が続いている。室員は理工系部局の教員が多く、学内でもまだ講師以上の女性教員もおらず、室の活動にも参画していない研究科もある。今後、文系を含め、各部署に男女共同参画委員会が設置され、全学の男女共同参画室の活動にも参画し、さらなる教育・研究、および雇用環境の改善が望まれる。

大学ばかりでなく、学協会でも男

女共同参画活動が進められている。2003年に発足した男女共同参画学協会連絡会は、現在85の理工学系学協会が加盟している。これまで、2003年、2007年、2012年に科学技術系専門職における男女共同参画実態に対する大規模アンケート調査（回答者約1.6万人）を実施し、アンケート結果を解析したデータに基づいた提言・要望書を政府機関、学術会議、研究費助成機関などに提出してきた。その結果、「出産・育児による研究中断からの復帰支援（日本学術振興会特別研究員事業）」、「女性研究者支援モデル育成事業（科学技術振興調整費）」、「女性研究者養成システム改革加速」や「女子中高生の理系進路選択支援事業」（科学技術振興機構）などいくつかの施策がスタートし、女性研究者および学生の研究・教育環境は改善されはじめ、次世代育成も推進されている。これについては Women in Physics 会議でも報告し、多くの質問を受けた。しかしながら、日本の女性科学・技術研究者の割合は14.4%（2013年12月総務省科学技術研究報告 <http://www.stat.go.jp/data/kagaku/kekka/topics/topics80.htm>）と、韓国（17.3%）に並んで諸外国の中でもきわめて低く、第4期科学技術基本計画で目標としている理工系全体での女性研究者の割合の30%まで、道のりは長い。

Women in Physics 会議において、ハーバード大で女性初の物理学教授となった核物理実験の第一人者であるメリサ・フランクリン（Melissa Franklin）教授の「自分のラボを立ち上げよう」という自然体ながら、力強い基調講演は圧巻で、聴衆を魅了し、勇気を与えた。各セッションでもIUPAPへの提言をまとめ、3年後の会議での再会を約束して閉会となった。



8月5－8日に、カナダのウォータールー（Waterloo）にあるウィルフレッド ローリエ（Wilfrid Laurier）大学で開催された、国際純粋・応用物理学連合（IUPAP: International Union of Pure and Applied Physics）の Women in Physics 会議での集合写真。世界52か国から、210人余りの女性（9割）および男性（1割）の研究者、教育者、学生が参加し、物理・応用物理学の研究・教育および男女共同参画に関する討議で、国際交流を行った。